

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 19日

事業所名 児童発達支援事業所キャンディさーかす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・限られたスペースを使って活動によってレイアウトを変更しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	5	・視覚支援で顔写真やイラストを掲示しています。	・建物の構造上バリアフリー化は難しい現状。安全への配慮を心がけていきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・毎日の清掃とこまめな玩具の消毒に勤めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	・文書の回覧や、掲示での改善点の周知をしています。	・非常勤職員もいるため、全員が同じミーティングに参加するのは難しいが、記録や伝達を密にしていきたいです。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・家族支援を通して日々相談しやすい環境を提供できるよう心掛けています。 ・話し合いの中で改善点があればその都度保護者と共有しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・ICTのルクミーを活用しホームページに載せた内容も周知するようにしています。	・事業者向け自己評価を行うことで事業所内も風通しの良い現場づくりに努めることが出来ます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		・第三者評価の実施につきつきましては今後の課題としてまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・オンライン研修を活用し、新しい情報を得ることが出来るよう工夫しています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・子ども自身が発信できない分日々の関りの中から推察できる子どもの「思い」を保護者と一緒に拾い上げます。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・保護者と定期的な面談でアセスメントを行っている(児発管) ・医療機関や他施設の検査結果を保護者から情報提供してもらい、支援計画に反映させている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・日々の支援やモニタリングを通して、保護者さんからの意見やニーズを伺ってガイドラインに基づき計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		・定期的に職員間で計画に沿った支援が出来ているかの確認作業は必要と感じています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	・ケース会議を通して子どもの状況を把握し、課題の分析をしながら内容を話し合っています。	・日々の流れを汲みながらプログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認する場を設定し、チームでプログラムの立案に参画することで、多角的な視点でプログラムの立案ができるように努めます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		・子どもの特性、年齢、家族状況から本人を知り、本児の興味に沿ったプログラムを提供できるよう改善していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	・基本的生活習慣を身につけることを土台にして個別・集団活動を取り入れています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎朝のミーティングで支援内容を確認しています。	・非常勤職員への周知が課題となるため、その日に行われる活動の打ち合わせ内容を日誌へ記入し、出勤した際に目を通してもらうようにしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・ICT活用により、業務日誌を振り返り確認してもらうことで非常勤職員にも情報の共有をしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・情報を共有し密に行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・個別面談から必要に応じてモニタリングを行い、支援内容を見直しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・日々子どもの情報を共有し、書面で見て把握できるよう整備しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・必要に応じて保健師さんなどと情報共有しながら支援を行えるよう工夫しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・必要に応じて個人情報を適切に管理した上で情報を共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・就学に向けて他事業所や小学校との支援会議を行いスムーズに移行できるよう心がけています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・保護者の相互理解の下、連携し助言を受けるようにしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		・今後検討していきたいと思います

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
携	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		・今後検討していきたいと思います
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・タブレット、スマホを活用して連絡体制をとっているため保護者さんにも喜ばれています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3		・情報発信が不足していたため改善が必要と感じています。有益な情報共有の場となるよう支援プログラムを立案していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・相談室でじっくりと説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・契約時に時間を取り丁寧な説明を心掛けている。理解いただいた上で同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・連絡しやすい時間を伝えたり、送迎の際の時間等で相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0		今年度は3回交流会を開催しました。今後もご家族で参加できる機会を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・要望に応じて話を聴く時間を設定しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	・連絡事項はICTツールを活用し円滑にやり取りができるようにしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・施錠したキャビネットで管理しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		・子ども自身からの傾聴はまだまだ不十分のため、環境作りを行っていく必要があります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		・招待交流はないが、散歩や公園に行くときは挨拶を心掛けている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・感染症に関しては、休息をとるようにお願いしています。	・マニュアルの共有を密に行う必要がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・子どもの様子がいつもと違う時や薬に関して依頼書の提出を求めています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		・職員間でヒヤリハットを共有し、事件事故が起こる前に、話し合いをしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・オンライン研修を受けています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・指針に基づいて情報共有している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。